



## 東京の少年サッカー

# 前進

公益財団法人 東京都サッカー協会  
東京都少年サッカー連盟 委員長 吉實雄二

少年連盟の平成29年度（2017年度）はスタートしました。

本連盟が東京都サッカー協会に4種委員会として出発したのが昭和50年（1975年）ですから今年で42年目になります。現在、チーム数は800を超え、登録選手数も3万6700名を超えています。これも日頃より、少年連盟関係役員の献身的なご努力と、また連盟組織と事業を支えて下さるご協賛各社、父兄の方々等多くの皆さまの深いご理解と強力なサポートがあることを改めて御礼申し上げます。

### 東京都少年サッカー連盟の2016年度の成果

#### 1、「三井のリハウス東京都U12サッカーリーグ」

- ・752チームが参加し、6,362試合を実施

#### 2、ブロックフェスティバル 23回実施（小学3年生以下の対象事業）

- ・全16ブロック 参加選手5,822名、指導者、父兄 6,285名

#### 3、キッズエリート 4回実施（小学4年生対象）

- ・東京都4エリア 参加選手 349名、指導者112名、父兄 630名

#### 4、指導者講習会、審判講習会

- |          |       |      |                |
|----------|-------|------|----------------|
| * 指導者講習会 | 17回開催 | 参加人数 | 990名（C、D級講習含む） |
| * 審判講習会  | 22回開催 | 参加人数 | 835名、          |

### 2016年度の新たな事業

- ① 「未来のトップアスリートのためのスポーツ栄養セミナー」を、大妻女子大学の協力により2回開催し、選手、父兄、指導者が150名参加しました。
- ② ユース審判員の育成
  - ・東京都5年生研修会で研修を積んだユース審判（高校2年生、中学3年生）2名は、2月に開催された「関東選抜少年サッカー大会」に参加。
  - ・「関東ガールズ・エイト」にユース審判（男、女）の参加。
- ③ 少年連盟役員のウェルフェアオフィサー研修（2016年度1名）
  - ・マッチウェルフェアオフィサーとして競技会場におけるリスペクト精神、フェアプレーの啓発、促進及び暴力、差別等予防活動等少年連盟の窓口を開設。

## 2017 年度新規事業

### \*U9（東京都3年生）サッカー交流会

普及事業の一環として今までに実施していなかった低学年の交流会を 96 チームの参加で開催する。

### \*女子選手対象のサッカーフェスティバル（ミニサッカー）

普及事業として都内全域の少女選手を対象に開催する。

2017 年度の少年サッカー連盟では、目標を次のように設定しました。

#### <よりよい環境づくり>

\*選手の育成、指導者の育成、審判員の育成を行うために将来のビジョンを確認して実施する。

- ・指導者講習会、C,D 級取得講習会、トレセン活動
- ・審判講習会、ユース、女子審判育成
- ・選手派遣事業、サッカー講演会、児童理解の講演会
- ・選手にとってより良いプレーができる会場の確保<人工芝、天然芝>

#### <安心、安全な事業運営への取り組み>

- ・大会時の救護体制、個人保険カード携帯
- ・選手派遣事業へのトレーナーの派遣
- ・医事講習会
- ・規律委員会での、暴言暴力への対応

#### < 熱中症予防、対策 >

#### < 暴力、暴言の指導根絶について >

#### <課 題>

- ① 指導者育成（女性指導者、D 級指導者）
- ② 審判員育成（女性審判員、ユース審判員，4 級審判員のフォロー）
- ③ 1、2 年生の事業を実現に向けての企画
- ④ 天候に左右されない会場確保

最後になりますが、少年連盟には大会などに多くの協賛をいただいております。改めて感謝申し上げますとともに、その趣旨を生かすべく一層の努力をしたいと思います。